

なかつか 亮

改選後、初の一般質問

「ネットカフェ難民」「原小跡ケアホーム」「都営住宅」「憲法9条」

区はくらし守れの声に耳を傾けるべき

品川区議会第2回定例会が始まる

6月22日の本会議にて、
とつても緊張しました。



品川区議会では、6月21日より第2回定例会が開かれ、改選後、初となる一般質問に、共産党から南恵子区議と、私、なかつか亮が立ちました。議会の様子をお知らせします。

質問のテーマ

質問は4点です。

- ① 新たな貧困「ネットカフェ難民」の実態調査と緊急対策を
- ② 大井林町・第2大井伊藤町の都営住宅は区移管で存続を
- ③ 原小学校跡は高額なケアホームではなく特養ホームを
- ④ 戦争する国づくりをめざす9条改憲はやめよ

今回は③の特養ホームについてご報告します。

議会のココが知りたい No.1

Q、区議会って傍聴できるの？

A、できます。

区議会の活動を知るために、最も有効な方法は傍聴です。本会議、常任・特別委員会は、だれでも傍聴できます。どんな議論がされているのか。だれが、何を発言しているのか。要注目です。傍聴するさいの、電話予約などは要りません。日程をご確認のうえ、傍聴希望者は品川区役所の総合庁舎4階にある区議会事務局で傍聴券をもらってください。

月20万円なんて払えませんか

区が原小跡に設置を進めている介護施設「ケアホーム」は、利用料が「月16万円〜20万円」と高額で、とても庶民には手が届きません。

私は「ケアホームの利用料は所得に係なく、西五反では月28万円ほど。特養ホームにすれば、所得に応じて利用料が決り、月6万5千円。原小跡は特養にすべき」と主張しました。

裏へ

品川区の答弁 「議会や地域は（ケアホームで）理解している」 「これからの高齢者像を考えるとケアホームが最良」

理解している？

品川区は「議会や地域は（ケアホーム）で理解を得られていない」などと答弁。改めて区は、原小跡は特養ホームではなく高額なケアホームを作る考えを示しました。



名も1千筆以上集められました。

地域の状況を理解していないのは品川区自信です。

なぜケアホーム？

他党も質問

議会では共産党は「ケアホームでなく特養こそ急げ」と主張しました。

他の党派は、今年2月の議会では「区の背策を支持します」と主張。しかし今回の議会では、「なぜ、

特養でなくケアホームなのか」や「料金はいくらなのか」などの質問も出されるようになりました。

ケアホームが最良？

繰り返しになりますが、原小跡のケアホームは月16万〜20万円です。とても、とても庶民には手が届きません。地域からは「お金持ちは支援するが、貧乏人は死ぬまで我慢しろ」という事なのか」との声もあがっています。いまこそ「特養ホームを」の声をもつとあげましょう。

なかつか亮

お知らせ

急展開にガックリ

「タコ」移動困難。移転先に新タコ設置へ

タコ公園の名前で親しまれている「神明児童公園」。今年1月の建設委員会にて、区は「タコを移転、保存する方向で検討」と答弁がありました。しかし、6月26日の建設委員会にて「移設は困難」と報告。詳しく聞くと「子ダコは移転できますが、昭和45建設の大ダコは、内部をくりぬいて調査した結果、骨組みの鉄部がさびており、専門家からは『移動すると壊れる可能性がある』と判断された。残念だが、大ダコの保存できない。移転予定先の公園に、同等のタコ型滑り台を新設するので、新しいタコも、引き続き地域から愛される公園として受け止めてほしい」との事でした。

計画変更の説明会や、現在のタコ型滑り台の「お別れ会」などは、地域の要望があれば「実施します」とのこと。急展開に、私も、ガックリです。まずはお知らせします。ご意見、ご要望お聞かせ下さい。